

1452 1472

晩秋

天気予報で 明日から晩秋 だまくなりました

あつたけのようには と言っていた

今日までには ひる間のあつたけ 秋

自然に秋がすすむのでない

かくかくと変化する

用意するのには 変わった

明日着る セーター シヤフ

夜やあつたけの バジマラしい物

夜中 目がさめて ワッセイをかくだ

かぶささの用意

これで晩秋 来ても大丈夫 出まら

忘れして わることもあまら

不思議なことに

これほどと 存とと

おろそかにしない

何かしらと 存

ベニシの 柵 昨日はつた

鏡の家の台 妻がすきぶいて

食品の詰り ストも出まら

やはり 正とはわるに存す

そうは

運動の 正才に存すと

ハッパのへりに ころわすての 運定ふす

何處もした

みとは 万月孫 見て来よう

トヤの外は 近くの花の ありありで

お目孫のかがま見え存る

やはり 不やす子存まいたし となす

おていの回 寒いさあいた

ちりそせんようた

2022
10/4